



# 迎春

# いわみざわ



IWAMIZAWA

発行所 陸上自衛隊 岩見沢駐屯地 岩見沢市日高台1-3  
印刷所 北海道立福祉村 支庁高松町 基上330 電話(0126)45-2721

新年の  
御挨拶を  
申し上げます

いよいよ一九八〇年  
代最後の年が明けまし  
た。

この十年間は、米ソ  
の軍拡競争の狭間で北  
日本周辺の戦略的価値  
が高まり、北海道防衛  
の我々の任務は益々重  
要なものとなりました。  
ところがこのところ、  
INF全廃条約、ソ連  
兵力削減表明等により、  
緊張緩和ムードが先行  
しています。

第二次世界大戦後の  
歴史は、このような時  
に時流に流されて気を  
許してはならないこと  
を教えています。  
来る一九九〇年代に  
大きなツケを払わずに  
すむよう、我々は覚め  
た目で国際情勢を見つ  
めながら、本年も、有  
事の際に真に役に立つ  
部隊を目指して力一ぱ  
い精進したいものであ  
ります。

岩見沢駐屯地司令  
一等陸佐 久留島昭彦

## 岩見沢駐屯地を初度視察 北部方面總監 志摩陸将

岩見沢駐屯地（司令 久留島一佐）では、十一月八日、  
北部方面總監 志摩陸将の初度視察を受察した。



隊務の正確そのものの積み  
重ねが抑止力であり、万が  
一有事の際には、我が祖国、  
北海道に敵を一步たりとも  
踏み込ませずにはならない。  
との三項目について強調され  
るとともに、群長を核として  
立派な岩見沢駐屯地の伝統  
を継承し益々輝かしいものに  
せよと訓示された。

昼食時には、従来の形式的  
な幹部挨拶に替えて駐屯地の  
主要幹部と会食され、夫々各  
幹部の自己紹介を交え、和や  
かな雰囲気の中で懇談された。  
また、駐屯地の全幹部に対  
して、訓練を始めあらゆる隊  
務についてマンネリを排し、  
新たな発想で隊務に取り組む  
ことの重要性を色々な体験を  
交えて強調されるとともに、  
駐屯地環境整備永年計画に基  
づき内外に自慢できる立派な  
駐屯地をつくるよう訓示され  
た。

午前十時、折りからの小雪  
舞り駐屯地正面玄関前に車で  
到着された志摩總監は、第三  
施設団長、駐屯地司令、業務  
隊長及び群幕僚の出迎えるな  
か、大谷二尉の指揮する儀仗  
隊の儀仗を受けられた後、約  
三時間におたり親しく駐屯地  
を視察された。

点クラブに指定されている岩  
見沢駐屯地陶芸場（日の出窯）  
では、粘土、釉薬、作品等に  
ついて、三代目陶芸部  
長（北野一年准尉）の  
説明に興味深げに耳を  
傾けておられた。

この間、志摩總監は、駐屯  
地司令より駐屯地及び駐屯部  
隊の概況、駐屯地環境整備永  
年計画（昨年策定 模型も完  
成して、現在逐次工事進行）  
部外工事の状況等の状況報告  
を受けられた後、隊内を巡視  
された。

一 隊員は自衛官であ  
る前に、駐屯地の所  
在する岩見沢市に住  
む者として、平凡な  
から健全な市民であ  
れ。

営内巡視では、若い陸士の  
隊員に気軽に話しかけて出身  
地や営内生活等について質問  
され、また、北部方面隊の重

二 施設科は、パイオ  
ニアとして発足した  
ものであり、各職種  
の先達としての自覚  
と実力を持つ。

三 平素の厳正な訓練





# 各指揮官がごあいさつ

業務隊長

二等陸佐 米本 健



時節柄、賀詞を遠慮させて頂き、年頭にあたり所懐の一端を述べ、挨拶に代えます。伝統と栄光に輝く当岩見沢当駐屯地に、業務隊長として赴任し参ってから一年有余が過ぎ、二度目の新年を迎えました。壁にかかる真新しいカレンダーを眺めると、静寂・厳かな気配の漂う中で清新の気が満ちてくるのを感じ、「今年は何をなすべしか」等、思いをめぐらせまが、本年の自衛隊勤務の習性で、自分自身のことよりも、先ず部隊のこと、駐屯地のことに考えが及びます。

駐屯地は、本年、人に例えれば最も働き盛りで充実する壮年期の三十六歳に達しました。そして駐屯地全員の英知を結集した「駐屯地整備永年計画」が策定され、それに基づく実行の実質的な初年度にあたります。時代のすう勢を觀察し、これを先取りした本計画の着実な実現を期して、その基盤整備に努力を傾注することが、業務隊長として「今年なすべき」責務の一つであるとの思いが強くなります。なかなか前途途遠でありませんが、「千里の道程も先ず一歩から」の言葉どおり、将来の礎のため、第一歩を踏み出さねばならぬと覚悟を新たにしております。この第一歩は

また、駐屯地の全員で踏み出さねばならぬものと考えます。何故なら、岩見沢駐屯地を「母なる大地」とする隊員全員の一丸となつての前進によつてかじめて計画の実効ある達成が可能となるからであります。どうか宜しく御協力を頂きたいと願うものです。

新春にあたり、駐屯地の発展と御家族共々の御健勝を祈念し、挨拶と致します。  
二年間を振り返って  
基地通信隊長 大竹光義



六十二年八月基通隊長として着任してから早いもので三度目の冬を迎えました。素晴らしい自然環境と人情あふれる人間関係の中でこれまで二年半無事に勤務させて頂き感謝致しております。また、司令以下各部隊長、隊員諸兄の懇切なる御指導と御協力により、業務も円滑に遂行出来る様になりました。ここへ来て私の任期もあとわずかになり、この駐屯地ともお別れしなければと思ふと一抹の寂しさは禁じ得ません。特に司令が推している駐屯地永年整備計画は素晴らしいものであり各方面から脚光を浴びており更に発展するものと期待しており、その完成を待ちわびる一人でもあります。この素晴らしい駐屯地の、より以上の発展のために我々は労をおします努力したいと思います。

年頭にあたり

本部管理中隊長 一等陸尉 大塚 悟



昭和六十四年の新春を御家族ともども清々しい気持ちで迎えられたことと思います。昨年は改編の年にあたり、基盤づくりに精励してまいりました。今年は昨年の基盤の上につきりと根をほやし、立派な大木となるよう充分に肥しを与えたいと思います。その肥しとなる訓練・サービスの充実を図るため、目標に向けて邁進し、また明るく楽しい中隊づくりに努めたいと思つています。右意志の疎通を図るため、上下左右の誠実積極的な服務努力に所期の成果を修め、新しい伝統を築きつつあることを確信した一年でした。

六十四年への抱負  
第三七施設中隊長 一等陸尉 吉田 吉彦  
新たな年を迎え、既に具体的な目標を掲げた人が居る事と思ふ。私は、中隊長として「目標を持ち情熱実行」を望みました。中隊として個人として具体的に「実行可能な目標を掲げ「よし、やろう！」という気持ちを発憤させ自発的に実行し、目標を達成しよう」という事です。



目標の設定もさながら、情

「気」も重要で、気持ちの昂ぶりを爆発させて奮起させ実行に移す気です。今年も、中隊全員が一丸となつて情熱を発して着実に実行を重ね、中隊のそして個人の向上を図り、隊務における充実感を得るとともに、有事に際し、真に役立つ中隊を目指し訓練に励む覚悟です。

年頭にあたり  
第三三五施設中隊長 一等陸尉 傳法和美



希望に満ちあふれ、御健やかに新年を迎えたいと思つております。「打って一丸」「有言実行」を要望して中隊長に上番、はや、一年五ヶ月隊員諸官の誠実積極的な服務努力に所期の成果を修め、新しい伝統を築きつつあることを確信した一年でした。

本年は「巳年」昨年の成果を基盤として、狙った獲物は逃さない大蛇のごとく大地に根(腹)をはり、粘り強くたくましく、精強第三三五施設中隊を育成し、新しい伝統を築きあげることを今年の目標として精進する所存であります。新年に向かつて  
第三三六施設中隊長 一等陸尉 池田 哲夫



す。中隊にもそれを強要しそ

の突りは着実に向上している様です。目標を持ち、それに向つて邁進して行く事は、活気があつてすばらしい事です。今年も巳年です。「狙った蛙は逃さない」という気概を持って充実した一年にしたいと思つております。

目 標  
一、強い中隊 (訓練・戦技)  
二、楽しい中隊 (上下左右意志の疎通)  
三、個人の充実  
池田丸「よりそろ前へ」  
原点立脚  
第三三七会計隊長 一等陸尉 大川内勝之



新年を迎え、今年は税制改革元年、ヒト、モノ、カネを見直し、原点に立ち戻り、目先にとらわれないこと、情報国際化に遅れぬよう、日々研鑽し、努力しよう。新年を迎えて  
第三二二施設器材中隊長 一等陸尉 柚木 義人



新中隊長として初めての新年を迎え、あたりごあいさつ申し上げます。昨年を振り返りますと、改編にはじまり、訓練・各種工事の実施、十月には中隊初めての訓練検閲を受閲し「良好」の成果を収め、また、十一月には自走架柱橋が装備される等多忙の中にも実り多き年でありました。

私も中隊長に上番し早や五

ヶ月が過ぎ、今年も中隊も中隊長も真価を問われる年と心得て、中隊が一丸となり有事に真に役立つ器材中隊となる様、心を磨き技を練り、より実り多い年にしたいと思つております。倍旧の御指導と御協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり  
調査隊長 一等陸尉 中田 和美



昨年は、潜水艦事故や砲弾事故等自衛隊にとつて多難の年であり、調査隊にとつても訓練の年でありました。ところで、調査隊といえは職務柄、暗いイメージを抱いておられる方も少なくないと思つておりますが、調査隊は皆様方のための部隊であり、皆様方の御理解なくして調査隊は有りえません。今年こそは直接皆様方の所へ押しかけ、調査隊を理解して戴くよう努力しようと思つておりますのでよろしくお願ひ致します。最後に今年が皆様方にとって最良の年でありませうよう祈念し年頭の御挨拶と致します。

第三四二施設中隊長 三等陸佐 山田 完治  
皆様良い年をお迎えのこととお喜び申し上げます。第三四二施設中隊は、今年改編二年目を迎えました。昨年は改編初年度として、

基盤づくりに重点を業務を行

ってまいりましたが、今年はこの発展拡大の年であり技を練り物心を充実させて、行き足をつけたいと思つております。短艇で言えば「ダッシュ……五十枚」と言ったところでしょうか。

苦しい思いをすることも度々あるでしょうが、六十四年の年末になって振り返つた時「俺達はやったね」と言える一年間でありたいと思つております。

皆様方におかれましても、健康でかつ充実した年でありませう御祈念申し上げます。最後に名寄施設中隊のためにひとこと御唱和下さい。「エンレイ草の咲く里の北の訪人 我が施設」  
新 年  
岩見沢警務班長 三等陸尉 横山 忠由



皆さん、よいお年をお迎えでしょうか。月日の過ぎるのは早いもので、私が着任してから、一年がたとうとしております。この間、岩見沢駐屯地では、一件の大きな事件も事故も発生せず、警務連絡班では班長以下、平穩に一年を送ることができました。これは、駐屯地としてはとても良い事です。警務隊が忙がしいという事は、トラブルを意味します。トラブルのない駐屯地生活を維持する為には、皆さん一人一人の自覚が大切です。各人が、事故防止、犯罪防止を年頭に置き、事故等を起こさないよう心がけましょう。今年も、私達警務隊が眠てありますように！







### 部外除雪工事開始「今年で三十四年目」

第十二施設群は、昭和三十一年から実施している岩見沢市道、北村道及び名寄市道の除雪工事を今年も受託することになり、十一月二十八日、岩見沢市、北村側から建設部長等関係者が参加して、岩見沢駐屯地で工事の協定式を行なった。

(名寄市は、同日、名寄駐屯地で実施)

豪雪地帯の岩見沢市、北村

### 群持続走競技会 「七中」に栄冠

第十二施設群は、十月九日、在名寄の第三四二施設中隊の隊員を含めて、選手二百七十名により、六十三年度群持続走競技会を実施し、第三三七施設中隊が総合優勝の栄冠を獲得した。



### 工事の概要

材	部	隊長・隊員	担
ロータリー ダンプ	第312施設中隊	松崎三郎 以下12名	岩見沢市道 (岩見沢駅前通り) 橋が丘線の一部 9.5km
高速除雪車 ロータリー ダンプ	第335施設中隊	二宮曹長 以下12名	北村道 通学路を主体とする砂浜線 付近 16.5km
ロータリー ダンプ	第342施設中隊	村井准司 以下28名	名寄道 東・7・8号 5.3km

### 予算会計検査を受検

岩見沢駐屯地では、十一月二十四日と二十五日の二日間、北部方面総監の命により、検査官総務部会計課長森住一佐以下三名の予算会計検査を受検した。



駐屯地全般について、「適正かつ効果的な会計業務処理」及び「経費の効率的、合理的な執行」を主眼に検査及び指導を受けた。

「駐屯地司令の適切な指導と関係者の努力により、業務は全般にわたって、適切に実施さ

### 南空知銃剣道大会 第三三五施設中隊優勝

第二十四回南空知銃剣道大会が、十一月二十七日、新篠津村海洋センターで、自衛官の部と一般の部に別れて行なわれ、自衛官の部では岩見沢Bチーム(第三三五施設中隊)が団体優勝した。

大会には、自衛官の部に岩見沢駐屯地から四個チームと美唄駐屯地から六個チームの計十チーム。一般の部では、新篠津村、栗沢町及び長沼町から六個チームが参加しておこなわれた。



優勝した335施設中隊

チームを破り優勝した。また、一般の部では、新篠津Aチームが優勝した。

なお、個人戦自衛官の部は二十一名が参加してトーナメント方式により戦われた結果、第三三七施設中隊の荒井二曹、一般の部では立蔵さんがそれぞれ優勝の栄冠を得た。

(A)Dグループ)に別れて行なった結果、A村上直樹士長、B春日文人三曹、C渡辺修二曹、D岡部優曹長がそれぞれ優勝した。

また、階級別の部では、階級別の六区間に別れて行ない、第三三七施設中隊が実力を遺憾なく発揮して優勝した。

第三三七施設中隊は、中隊長を核として、必勝の信念に燃え一致団結し、訓練の合間や課業外を利用して練習を行なった結果、一般走・階級別の部ともに第一位となり、完全総合優勝をしたもので、今後冬季戦技競技会に向け活躍が期待される。

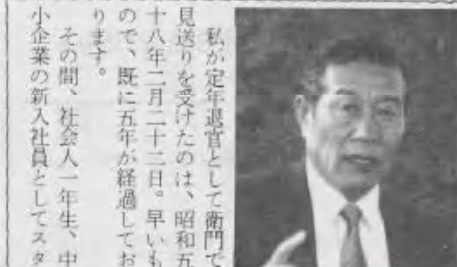
なお、区間別では、一区上野義弘一士、二区沢田義文士長、三区山口和人三曹、四区有馬民雄二曹、五区鶴田宏道一曹、六区山本九三尉が区間賞を得た。

### OBだより

#### 崖邊の社会人としての歩み

岩見沢法律事務所勤務 小林良一

いとをきりました。未知への旅立ちという心情でした。二十歳の女子職員から七十



私が見送りを受けたのは、昭和五十八年二月二十二日。早いもので、既に五年が経過しております。

その間、社会人一年生、中小企業の新入社員としてスタートをきりました。未知への旅立ちという心情でした。二十歳の女子職員から七十歳近い幹部職員のいる職場の中へ、自衛隊退職者で五十歳すぎた者が入社した訳です。当然注目と奇異の眼で中高年者の言語動作は言うに及ばず、全てについて社内での眼が敏しく感じられました。

その敏しい状況の中で心の支えに成ったのは、現職時代の訓練、演習、格闘技等における敏しい状況の中で過ごした経験から得た「不撓不屈」の精神要素でした。

自分のことは自分が一番よく知っていると思いがちだが、言葉は簡単ですが、OB雑感として申し上げます。









昭和63年訓練始め



12施群改編記念人文字



駐屯地陶芸場(日の出窯)更新

# 岩見沢駐屯地

## 88'の軌跡



第3施設団銃剣道大会



12施群団長訓練検閲



新入隊員教育終了検閲



群野営訓練(天塩)



群野営訓練(北大演)



群野営訓練(別海)



駐屯地司令杯混合Wテニス大会



駐屯地創(隊)立記念旭岳登山



自衛隊スナップ写真展「素顔の岩見沢自衛隊」